

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 6年 3月26日

事業所名 ももの木

保護者等数(児童数)30名 回収数 13件 割合 43 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	1	0	1	クールダウン用の小部屋もあり、配慮していただいていると思います。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	0	0	2	福祉実践は終わりがありませんので、引き続きより良い実践を目指して、専門性の向上に努めていただきたいと思います。	研修の実施・参加を行い、また日々の支援の中で意見交換をする等して、専門性の向上に努めていきたいと思っています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	1	0	3	利用者名や予定など、可視化されていて、子どもたちが理解しやすくなると思います。	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ⅰが作成されているか	13	0	0	0	引き続き丁寧に課題整理をして、さまざまな活動に繋がっていただきたいと思います。	
	5 活動プログラム※ⅱが固定化しないよう工夫されているか	12	1	0	0	公園などの外出する活動は少ないです。引き続き季節を感じられる活動をお願いします。	今後は戸外での活動を増やしていけるよう対応していきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	0	3	8	事業所さんとしてはあるかもしれませんが。地域のお祭りに参加し楽しんでいました。利用が少なくわからないため。わからない。利用している本人からも職員さんからもその様なお話は伺った事がないのでわかりません。デイの中での行き来はあのように聞きますが交流はわかりません。よそとの交流についてはよくわかりません。参加したことがないと思うので。よくわかりません。障害のない子供たちとの関わりがあるということは聞いたことがないが、なくとも良いと思う。特に希望している訳では無いので問題無いです。活動の有無や詳細について存じ上げません。通っているなかでは聞いたことがありません	今のところ、障がいのない子どもと活動する機会がほとんどありません。公園等に遊びに行った先に、遊びに来ているお子さんとの関わりがある程度です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 6年 3月26日

事業所名 ももの木

保護者等数(児童数)30名 回収数 13件 割合 43 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	0	0	0	いつもその日の事をお聞きします。契約時に伺っています。書面でもわかりやすいため。入所時に聞いた。帰宅時や支援内容の更新時に内容をお話下さっておりありがたいです。帰りの送迎時に教えていただいています。入所時だけでなく定期的に書類等頂いています。いつも丁寧に説明して頂いています。ないです。こちらがやって欲しいと思う支援をやっていただけてると思う。お迎えの時に活動内容を教えて頂いています。引き続き丁寧な説明をお願いします。通所を開始する際にお聞きしています。	契約時に説明をさせて頂いております。今後も送迎時や懇談等で説明はさせて頂ければと思います。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	2	0	0	毎回教えて頂いています。送迎時にいろいろ教えていただき、ありがとうございます。	連絡帳とHP上にブログとして活用内容を掲示しています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	2	0	2	引き続きよろしくお祈りします。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	2	0	6	今後参加の機会があれば、参加したいと思います。	昨年度は、平日に一度、土曜日に一度の2回行いました。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1	0	5	今のところ苦情などはありませんが、もしありましたら相談したいと思います。	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	2	0	0	連絡帳やラインなど工夫していただき、ありがとうございます。	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	0	0	1	紙面のカリキュラムなどで予定確認しています。	ホームページやSNSでの発信も行っております。
	14 個人情報に十分注意しているか	12	1	0	0	引き続き適切な対応をよろしくお祈りします。	
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	1	1	1	最初の重要事項説明にて案内いただいたと記憶しています。	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	0	0	2	避難訓練の様子は聞いています。連絡帳にて実施の連絡を頂いています。子どもの利用のときにはされていないようなのでわかりません。詳しくはわからないが、いざと言う時の為にも普段から訓練して頂けるのは有り難い。連絡帳や本人から今日は訓練したと話を聞いたり、確認したお祈りします。避難訓練を定期的にしていただいています。訓練をした話を聞いています。避難訓練をしたと何度か聞いています。無いです。避難訓練をやっただけ。先日地震の時、避難訓練と言って自ら机の下に隠れていました。実施状況の有無や詳細については存じ上げません。活動内容に書かれていますので、訓練は行われているのかなと思います。	月に1回。避難訓練を行っています。偶数月は、事業所毎で行い、奇数月は、法人全体で行っております。月1回の為、利用日に実施していない月も出てきていると思います。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 6年 3月26日

事業所名 ももの木

保護者等数(児童数)30名 回収数 13件 割合 43 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	11	2	0	0	帰宅後機嫌が悪い時があります、こだわりが強い子でもう少し利用した時の様子など教えていただけたら助かります。他の利用者さんの名前を覚えたりして、とても楽しみにしています。	送迎時に、いつもと違う場合には、連絡をするとともに、電話連絡ができるようにしていきたいと思えます。
	18 事業所の支援に満足しているか	13	0	0	0	引き続きよろしくお願ひします。	ありがとうございます。今後も職員で連携を図り、精進してまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6年 3月 1日

公表:令和 6年 3月 26日

事業所名 ももの木

		チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	1	安静室が新しくなりましたが、冷暖房が無いため、季節によっては長時間過ごすことは難しい。お友達が怪我をしないように気をつけている。定員になると狭く感じることがある。机や棚は部屋の端に配置し、子ども達が広々遊べるよう工夫している。広狭のスタッフ補充は出来ていると思うが、活動担当出来る正社員の増員が必須だと感じる。女子トイレが新設され環境改善はされましたが、制服の着えやトイレに時間がかかってしまう時間帯への見守りが手薄になってしまう時間帯がでてきたのでスタッフ同士で声を掛け合っている。人が足りないと感じることがある。ももは現状2人でまわしている為一人あたりの仕事量の負担が多いと感じることがある。各子どもに十分な支援が女子トイレに関しては手洗い場が無い事のでかかなりの手間及び利用者並びにスタッフへの負担もかかっている。車椅子利用者のご利用される事になり、トイレ、手洗いや送迎時の出入り、車の乗り降りにかかなりの配慮が必要になっている。車椅子の子がトイレに入る時狭く入るのに時間がかかることがある。トイレの広さ等に改日々の打ち合わせで意見を出し合い、共通認識できるようにしている。定期的な会議や研修に全職員が参加している。	安静室については、温度調整に気を付けていく。机や棚の配置を工夫して広々遊べるようにしていく。
	2	職員の配置数は適切である	3	0	2	スタッフの育成をしっかりと行い、活動担当が出来るよう対応したい。配置については、国が定める基準は満たしている。一人一人の子どもの様子を見る支援力を高めていきたい。	スタッフの育成をしっかりと行い、活動担当が出来るよう対応したい。配置については、国が定める基準は満たしている。一人一人の子どもの様子を見る支援力を高めたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2	1	手洗い場や車いす利用者様のご利用時の対応については、今後検討していきたい。	手洗い場や車いす利用者様のご利用時の対応については、今後検討していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	0	今後も継続していく。	今後も継続していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0	2	スタッフとどのような支援を行っていくか話し合っている。	スタッフとどのような支援を行っていくか話し合っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0	2	ホームページやステップサポートにて公表している。	ホームページやステップサポートにて公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1	3	把握しておりません。	法人と相談し、検討を行っていく。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	0	今後も継続していく。	今後も継続していく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	1	保護者の方に確認を行いながらスタッフと支援方法について話し合っている。	保護者の方に確認を行いながらスタッフと支援方法について話し合っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用	4	0	1	今後、5領域を含めたアセスメントツールの活用を行っていく。	今後、5領域を含めたアセスメントツールの活用を行っていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	0	今後も継続していく。	今後も継続していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	0	季節に合わせた行事の計画も取り入れつつ、利用者様が楽しめる活動プログラムを行っていく。	季節に合わせた行事の計画も取り入れつつ、利用者様が楽しめる活動プログラムを行っていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1	0	長期休みや休日には普段できない活動等を取り入れている。	長期休みや休日には普段できない活動等を取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	1	利用者様一人一人のレベルに合わせて作成している。	利用者様一人一人のレベルに合わせて作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0	毎日打ち合わせを行っている。	毎日打ち合わせを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	1	毎日打ち合わせや振り返りを行っている。	毎日打ち合わせや振り返りを行っている。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	1	業務日誌を活用して検証し、改善につなげていく。	業務日誌を活用して検証し、改善につなげていく。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断してガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	0	1	ケース会議等で話し合っている。	ケース会議等で話し合っている。	
19		3	0	2	活動を複数の種類に分けて行っている。	今後も継続していく。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6年 3月 1日

公表:令和 6年 3月 26日

事業所名 ももの木

		チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	0	サービス担当者会議の前に職員間で情報共有を行なっている。	今後も継続していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	0	1	主に保護者を通して行なっているが、必要な時には学校と直接やりとりしている。	主に保護者様から連絡を頂くが学校からも申し送りで連絡が入る。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整える	1	0	4	まずは保護者に連絡する体制を取っている。	現在、医療的ケア児の利用がない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	1	2	アシスト系列の利用者については、利用時のスタッフから情報を得ている。小学校高学年からの利用を対象としている。事業所間では情報共有を行なっていない。	連携がとれる体制を今後検討していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	0	2	資料にまとめ、共有するようにしている。	今後、より良い方法を検討していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	0	4	把握しておりません。	研修等には参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3	1	公園等の公共の場で接する機会がある。	今後は、イベント等を通して関わりを増やしたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	0	2	研修や連絡会に参加している。	自立支援協議会に、子ども部会がない。他の部会には、参加を行っている。今後子ども部会ができた時には、ぜひ参加を
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	5	0	0	連絡帳の活用、送迎時に報告を行っている。活動内容を口頭のみでなく、写真等を活用して目で見て分かりやすくなるようお伝えしている。送迎時に日頃の様子等を話すようにしている。	連絡帳や電話等を活用して、共通理解を持てるようにしていきたい。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	0	4	相談にはのるが、ペアレントトレーニングというかたちではおこなっていない。把握しておりません。	今後、ペアレントトレーニングができるように支援を行っていく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0	2	変更などがあるとその都度、文書化した物をお渡ししている。資料をもとに丁寧な説明を心掛けている。	契約時に説明を行い、分からないことがあれば、その都度、相談にのっていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	1	定期的な懇談や日々の連絡を通して行なっている。	その都度、相談があれば応じている。事業所内で対応が難しい場合には、法人全体で相談を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	0	2	保護者会を開催している。保護者会を適宜開催している。	今年度は、平日1回、土曜日1回の年2回保護者会を開催することができた。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	1	面談の他、連絡帳、電話やLINEなども用いて対応している。苦情対応の体制を整えている。	相談があれば、随時、一緒に解決方法を見つけて行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0	2	アシスト通信などの手紙、ホームページやブログで活動予定などをお伝えしている。定期的に会報を発信している。	今後も定期的にホームページやSNS等を活用して発信を行っていく。
	35	個人情報に十分注意している	5	0	0	保管場所を定め、厳密に管理している。廃棄する場合はシュレッダーにかけている。	個人情報の取扱いは、今後も十分に注意を払っていく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0	手紙(メモ)、電話、LINEでの連絡事項の個別確認など、わかりやすく、できる限り目で見る形で伝えるようにしている。	今後も意思の疎通や情報伝達ができるように配慮を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	2	コロナ禍で開催出来なかったアシストとしての催しが利用関係者のみで今年度開催出来た。今年度の反省などをふまえて、来年度は地域の方々や交流出来るとう良い。イベント時に地域の方に来て頂く	コロナ明けということで、色々な行事が制約されていたため、本年度は事業所だけでクリスマス会を行った。来年度からは、地域の町内会と一緒にいくことを予定している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	0	2	BCP(事業継続計画)の研修を受け、作成に向けて動いている。整備して資料にまとめ、共有できるようにしている。	マニュアルは、全職員に周知している。変更が出た場合にも適宜、直している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0	事前に役割分担及び内容等を話し合うようにしている。決定する。毎月訓練をおこなっている。定期的に避難訓練を行なっている。	避難訓練は、地震・大雨・不審者など、色々なバージョンで偶数月は、事業所毎。奇数月は、法人全体で行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0	研修を受けいる。今年度からデイルームなどに室内カメラが設置された。定期的な研修を通して虐待防止に努めている。	研修は全職員が参加できるようにしている。また、参加できない時にも共有できるようにしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	0	1	契約書等を通して保護者に明確に示し、了承を得るようにしている。	個別支援計画に記載している。また、身体拘束を行った時には、保護者に説明をしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	0	2	おやつ入れにアレルギーのある利用者一覧表を貼って毎回確認出来るようにしている。利用者のアレルギー物資が含まれる物にはスタッフに声をかけた上で袋に直接明記して配膳しないようにしている。保護者に十分に確認して対応し	医師の指示書は頂いていないが、アレルギー等はスタッフで情報共有を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	0	3	ヒヤリハットファイルがある。把握しておりません。	ヒヤリハットを作成して、情報共有をしてけがや事故に繋がらないようにしている。